国道６号整備促進に関する
要　望　書

令和７年１１月１４日

日　立　市

日立バイパス建設促進期成会

要 望 書

～ 国道6号整備促進について ～

日頃から日立市の市政運営につきまして、格別なる御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本市は、海と山に挟まれた南北に細長い地形の制約から、既成市街地を南北に連絡する幹線道路は唯一国道６号のみとなっております。多くの自動車交通を担っていることから、日常的に交通渋滞が発生し、産業活動や市民生活に大きな影響を及ぼしており、渋滞の緩和は本市の長年の課題となっております。このことから、地域経済の活性化や産業の振興等、生産性向上に資するためには、重要物流道路に指定されている国道６号の機能強化は必要不可欠であります。

また、令和６年１月に発生した能登半島地震や同年９月の豪雨災害による複合災害など、近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害に備えるには、緊急輸送道路である国道６号の４車線化を含めた機能強化やダブルネットワークの構築など、防災性の向上や安全で快適な通行空間を確保するため、国土強靭化に資する重点的かつ効率的な取り組みが必要であります。

以上のことから、次の事項について格別の御高配を賜りたく要望いたします。

要望事項

災害に強い幹線道路ネットワーク構築のため、「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」のプログラムに位置付けられた下記路線について、計画的に事業を推進するとともに、今般策定された第１次国土強靱化実施中期計画を踏まえ、中長期的かつ明確な見通しの下、継続的・安定的に国土強靱化を推進できるよう、資材価格の高騰等の影響を的確に反映し、通常予算とは別枠で予算を確保し、事業を継続的に取り組んでいただきたい。

１　国道６号大和田拡幅の早期完成

２　国道６号日立バイパス(Ⅱ期)の早期完成

３　国道６号桜川道路（仮称）の計画段階評価の早期着手

～国道６号大和田拡幅、桜川道路（仮称）、

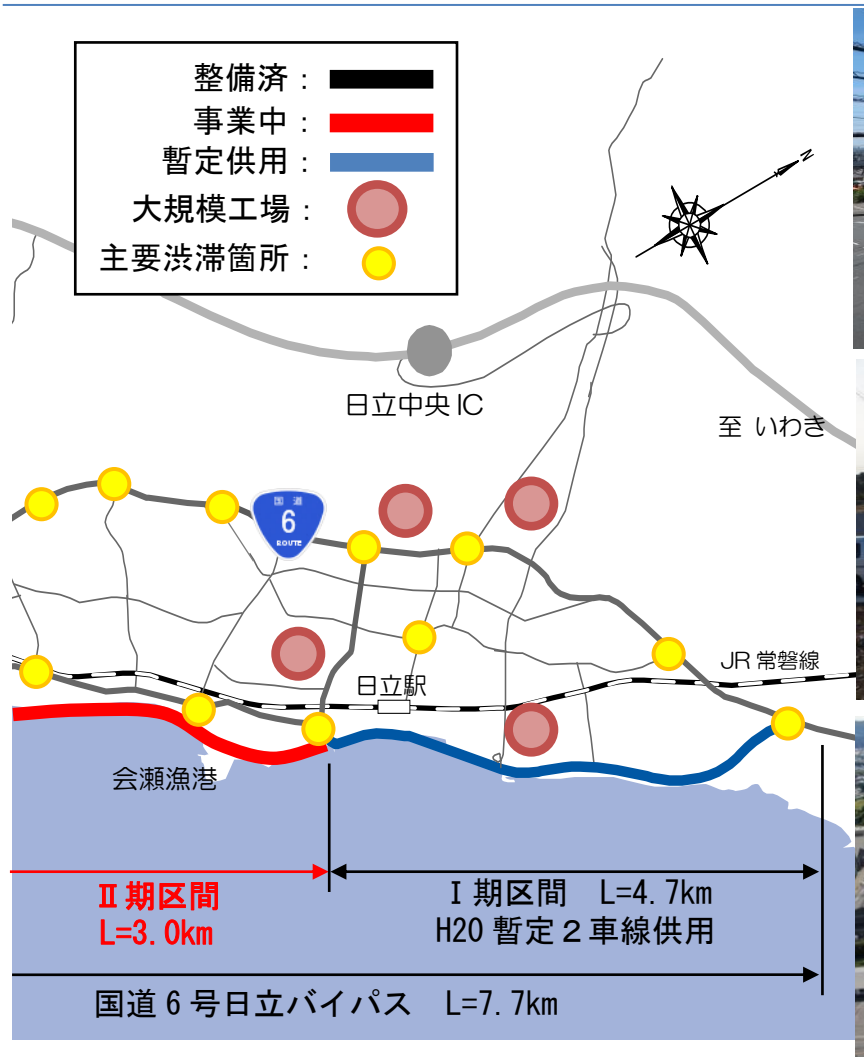
大和田拡幅

（１）大和田拡幅は、茨城県及び日立市が整備し平成 24 年度に全線開通した山側道路との連携を図り、日立市南部の交通渋滞を緩和するとともに、安全性の確保、地域の健全な発展と将来のまちづくりに大きく寄与する事業である。

（２）山側道路と交差する大みか町６丁目交差点（写真①参照）や、暫定形として新たに移設された石名坂交差点（写真②参照）は、交通量の増加や交通の輻輳など、円滑な交通処理に支障を来していることから、早期完成が求められている。

（３）重要港湾である茨城港日立港区は、東京ガスのＬＮＧ輸入拠点、メルセデス・ベンツ及び日産自動車の輸入・輸出拠点、ホクレン農業組合の物流拠点として港湾機能が拡大強化されている中、その物流機能を担う大和田拡幅の早期完成が喫緊の課題となっている。

日立バイパス（Ⅱ期）の早期整備の必要性～



日立バイパス（Ⅱ期）

（１）日立バイパスは、茨城県及び日立市が整備した山側道路や、令和７年３月 27 日に４車線で開通した県事業の鮎川停車場線（写真③参照）との連携を図り、日立市中心部の交通渋滞の緩和に大きく寄与する事業である。

（２）市内には、主要企業の大規模工場が連担しており、工場間の連携が非常に強いことから、より効率的な物流ネットワークの強化を図るため、日立バイパス（Ⅱ期）の早期完成が求められている。

桜川道路（仮称）

（１）当該区間は、慢性的な渋滞が発生しており、国土強靱化に資する重点的な取り組みとして、４車線化等の機能強化が必要である。

（２）特に、鮎川停車場線（県事業）の開通により、諏訪五差路交差点から常陸多賀駅入口交差点まで（L=1.1km）の区間の前後は４断面の車線数が確保されている一方で、当該区間がボトルネックとなっている。このため、局所渋滞対策事業等を活用し、優先的に整備を進める必要がある。